

授業概要

学校臨床心理学の領域を中心に、専門演習などの授業の蓄積した知識を踏まえて、実証研究を実施する。

授業計画

第1回	オリエンテーション	第16回	オリエンテーション
第2回	研究論文の体裁1（問題と目的）	第17回	データ収集方法の検討1
第3回	研究論文の体裁2（方法部分の記載）	第18回	データ収集方法の検討2
第4回	図表の書き方	第19回	中間構想発表会1
第5回	研究論文の結果の書き方	第20回	中間構想発表会2
第6回	考察部分の記載内容について学ぶ	第21回	データ分析結果報告1
第7回	引用文献の記載方法について学ぶ	第22回	データ分析結果報告2
第8回	関心あるテーマの発表1	第23回	分析結果を図表にまとめる
第9回	関心あるテーマの発表2	第24回	考察の執筆について
第10回	各ゼミ生の問題点の討論1	第25回	論文の中間報告1
第11回	各ゼミ生の問題点の討論2	第26回	論文の中間報告2
第12回	テーマに関する社会への応用について	第27回	論文の最終報告1
第13回	秋期の研究スケジュールについて	第28回	論文の最終報告2
第14回	春期の振り返り	第29回	まとめ1
第15回	夏休み中の作業内容の確定	第30回	まとめ2

到達目標

- ・興味・関心のあるテーマの文献、資料を集めることができる。
- ・興味・関心のあるテーマの文献、資料を何度も読み、内容を理解できる。
- ・科学的手法に基づき、心理学研究を実施し、論文として適切にまとめることができる。

履修上の注意

- ・学科の専門必修科目の他、学校心理学、福祉心理学、学校臨床心理学、などは参考になります。

予習・復習

- ・発表準備のための予習・発表後の振り返りは必ずするようにしてください。
- ・仲間の発表に対しても積極的な意見を発表するようにしてください。

評価方法

発表レポート(40%)、ディスカッションへの参加度(30%)、毎回提出するミニレポート(30%)などにより、総合的に評価します。

テキスト

- ・必要に応じて資料は配布します。
- ・参考書など必要なものは、講義の中で適宜指示します。

授業概要

3年間で学んだことを踏まえ、各自研究テーマを決めて研究方法を検討し、卒業論文を完成させることを目的としている。研究テーマに沿って必要な資料やデータを収集し、分析、考察していく力を身に付ける。研究に取り組む過程で、プレゼンテーションを行うことにより、研究課題への理解を深め、最終的に論文をまとめる。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション	第 16 回	オリエンテーション
第 2 回	関心のある研究論文の発表 1	第 17 回	更なる論文、資料の収集の仕方
第 3 回	関心のある研究論文の発表 2	第 18 回	方法の検討 1
第 4 回	テーマの設定	第 19 回	方法の検討 2
第 5 回	先行研究の読解 1	第 20 回	調査・実験の実施 1
第 6 回	先行研究の読解 2	第 21 回	調査・実験の実施 2
第 7 回	先行研究の読解 3	第 22 回	調査・実験の実施 3
第 8 回	先行研究の課題 4	第 23 回	結果の整理 1
第 9 回	先行研究の課題 5	第 24 回	結果の整理 2
第 10 回	問題点の討論 1	第 25 回	考察のまとめ 1
第 11 回	問題点の討論 2	第 26 回	考察のまとめ 2
第 12 回	問題点の討論 3	第 27 回	卒業論文の執筆 1
第 13 回	問題と目的のまとめ 1	第 28 回	卒業論文の執筆 2
第 14 回	問題と目的のまとめ 2	第 29 回	卒論発表予行演習 1
第 15 回	問題と目的のまとめ 3	第 30 回	卒論発表予行演習 2

到達目標

- ・研究テーマに関わる文献、資料を収集し、内容を理解できる。
- ・これまで学んだことを心理学的視点で考えられる応用力、論理的思考力を習得する。
- ・4年間の集大成として卒業論文を書き上げることができる。

履修上の注意

- ・無断欠席はせず、欠席する場合には連絡すること。
- ・主体的に参加すること。
- ・毎回の授業内容をノート等に記録すること。

予習・復習

- ・毎回の課題について、自ら積極的に調べておくこと。

評価方法

卒業論文と卒論発表、毎回の課題提出等をふまえ、総合的に評価する。

テキスト

特になし。必要に応じて紹介する。

授業概要

卒業論文または卒業研究の執筆・提出を目的とします。

各個人で興味のあるテーマを設定し、先行研究のレビューした上で、先行研究の問題点を明らかにし、卒業論文・研究において明らかにしたい事柄（目的）・仮説（予測される結果）を設定します。

その上で、様々な方法（質問紙法、実験法、面接法）を用いて、調査研究を行います。

得られたデータを入力・分析し、仮説検証を行った上で、卒業論文・研究として執筆します。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション	第 16 回	質問紙回収
第 2 回	テーマの設定	第 17 回	データ入力
第 3 回	先行研究の精読 1	第 18 回	SPSS の操作方法
第 4 回	先行研究の精読 2	第 19 回	記述統計
第 5 回	先行研究の精読 3	第 20 回	差の検定
第 6 回	先行研究の精読 4	第 21 回	多変量解析（因子分析）
第 7 回	先行研究の問題点	第 22 回	多変量解析（相関、回帰、その他）
第 8 回	問題と目的の論文化	第 23 回	結果の読み取りと図表作成
第 9 回	調査手続きの検討	第 24 回	方法と結果の論文化
第 10 回	尺度の選定	第 25 回	考察の論文化
第 11 回	分析の検討	第 26 回	論文執筆 1
第 12 回	質問紙作成	第 27 回	論文執筆 2
第 13 回	研究倫理書類作成	第 28 回	論文執筆 3
第 14 回	調査先への依頼	第 29 回	論文執筆 4
第 15 回	質問紙配布	第 30 回	パワーポイントの作成
		第 31 回	要旨の作成

到達目標

- ・卒業論文または卒業研究を執筆すること
- ・自分自身の興味がある心理学的現象について理解を深めること

履修上の注意

- ・心理学の分野の中でも、パーソナリティ心理学、臨床心理学等の領域で卒業論文執筆を希望する方。
- ・積極的・主体的に授業および調査研究に参加する姿勢をもつこと。

予習・復習

授業内容の特性上、発表レジュメ作成、質問紙配布、データ分析、卒業論文執筆等があるため、授業時間外での活動があります。

評価方法

卒業論文およびそれまでの授業態度を評価対象とします。

テキスト

特になし。必要があれば、授業内で別途指示します。